

## 会 議 要 録

会 議 名	第29回 八王子市生活安全対策協議会		
日 時	令和2年(2020年)2月19日(水) 午前10時～11時30分		
場 所	八王子市役所本庁舎議会棟4階 第6委員会室		
出席者 (敬称略)	委 員	渡邊 修一、内田 豊、井上 梓、林 智喜、西室 正土、 久保 潤二、内田 智、高橋 文夫、吉岡 幸造、酒井 文博、 山村 英夫、一杉 昇子 計12名	計17名
	説 明 者	(委員、事務局等)	
	事 務 局 等	大野生活安全部長、福島防犯課長、安岡主査、佐藤主査、 森崎主事 計5名	
欠席者(敬称略)	佐藤 三緒、井草 美枝子、鈴木 麗加、梶原 正統、櫻井 利行(代理:比嘉 課長代理)、野田 明美 計6名		
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 令和元年度(2019年度)生活安全対策事業実績報告について</li> <li>2 市内の犯罪発生状況について</li> <li>3 各警察署管内の犯罪発生傾向と対策等について</li> <li>4 その他</li> </ol>		
公開・非公開の別	公開		
非 公 開 理 由			
傍 聴 人 の 数	なし		
配 布 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次第</li> <li>● 資料1: 令和元年度生活安全対策 事業実績報告</li> <li>● 資料2: 令和元年(2019年)における市内の犯罪発生状況 など</li> <li>● 資料3: 再犯防止推進計画の策定について</li> </ul>		
会 議 の 内 容	(次のとおり)		
会 議 録 署 名 人	令和2年4月1日	署名人	久保 潤二

会議の内容 【 】: 発言者

## 1 開会【防犯課長】

## 2 生活安全部長挨拶

## 3 初回出席委員自己紹介

## 4 事務連絡【防犯課長】

- 本日の会議出席者は規定数である過半数が出席
- 本日は傍聴人なし
- 会議録の扱いについては、会長に署名をお願いする

## 議題1 令和元年度（2019年度）生活安全対策事業実績報告について

【安岡主査】資料1に基づき説明

○質疑応答

【高橋委員】

防犯カメラについて、市の補助はあるが、財政（資金）が豊かでないと付けられる町会自治会は限られる。今後良い方法を検討してほしい。

【防犯課長】

今年度は11/12の補助率で補助金を出した。維持管理費の補助も含めて、地域の負担が少なるように今後考えていきたい。

【内田豊委員】

設置後のメンテナンス費用について、今後取り扱うという説明をうけたがいかがか。

【生活安全部長】

今予算の計上をすべく審議をしている。この場で来年度やるとまでは言えないが、いい方向に進んでいると思っている。また、防犯カメラの補助に関して、新年度からは協働推進課の方で対応する方向で調整している。

ただ、現状はオリパラに向けて東京都の補助率が上がっているが、11/12の補助が来年度は10/12に減る可能性がある。

○補足【生活安全部長】

防災情報メール配信に関して、先日の台風ではサーバーがパンクし、避難所の開設情報を市のホームページで確認できなかった方が多くいたが、避難所開設情報を含め、全ての情報は防災メールでも配信していた。防犯防災メールを登録されていない方は、この機会に是非登録いただきたい。

## 【議題2 市内の犯罪発生状況について】

【佐藤主査】資料2に沿って説明

○質疑応答

【議長】

車上ねらいについて、今の車は電子キーとなっているため、その鍵を開けての被害は少ないとは思いますが、どのような手口が多いのか。

【佐藤主査】

無施錠が半数。そのほか、窓破りによる手口が半数。場所については路上、個人宅、店舗様々である。

【生活安全部長】

今の車だと、割ると盗難防止装置が発報すると思うが、鳴らないものか。

【比嘉課長代理】

鳴らない車を選んでいると思う。

【内田豊委員】

電子キーの電波を受信してコピーして悪用するケースがあると聞いた。

## 【議題4 各警察署管内の犯罪発生の傾向と対策について】

【八王子警察署 吉岡委員】

・警視庁の把握であり市役所の把握している数とは違うことを断っておく。また、特殊詐欺の被害については、詐欺盗を含めた数となっている。

・刑法犯認知件数は1789件（昨年比－139件）。

・昨年の指定重点犯罪（特殊詐欺、ひったくり、侵入窃盗、強盗、性犯罪、自動車盗、子供に対する犯罪）発生件数は179件（前年比－29件）。内訳は特殊詐欺51件（昨年比－11）、侵入窃盗94件（昨年比－17件）、ひったくり4（昨年比＋2件）。

・特殊詐欺の内訳については、オレオレ詐欺23件、架空請求15件、還付金等詐欺9件、詐欺盗4件、総被害額が2億2500万円（昨年比＋1億2000万）。昨年比で大幅増となっているが、架空請求が1件1億2000万円の被害があったため、そのまま上乗せされた形となる。

・特殊詐欺のアポ電は1年で一番多かったのは元本郷町が66件、そのほか50件以上の町名は榎原町、中野上町、川口町、大和田町で同水準で入電している

・実際の被害については台町の発生が一番多く、5件。アポ電の入電状況と被害の発生状況を月別で見ると、必ずしも一致するものではない。7、8月が被害発生が多く2月が続く。3、4、5月のアポ電が多い。4月は174件入電を確認している。

・対策としては、広報啓発に力を入れている。ユーロードの商店街で音声やDVDを放送している。

防犯協会の協力を受けて金融機関 13 か所に等身大のパネルである「スタンドポリス」を設置している。  
また、啓発として小型のカードを何万枚か作成し、内勤と地域課と一緒に高齢者宅を戸別訪問しカードを配布。408 件貼付をしている。

- ・留守番電話の設定の依頼について、2600件訪問し、1600件面接できた そのうち800件について留守番の設定を行うことが出来た。

- ・そのほかの指定重点犯罪については侵入窃盗については、大和田町の被害が 9 件で一番多く、千人町、子安町の 7 件ずつと続くが、管内くまなく発生している。

- ・指定重点犯罪以外に署長が特に指定する重点犯罪があり、八王子署では車上狙いがそれにあたるが、件数は 68 件（昨年比+10 件）

車上ねらい被害のうち、施錠の有無については 41 件で約 6 割が無施錠で被害にあった。

- ・侵入窃盗被害 94 件のうち 28 件、約 3 割が無施錠。自転車盗の被害については、402 件のうち 253 件、約 6 割が無施錠であった。

- ・車上ねらいの主な対策としては、工事現場の車両の被害が目立つため、現場でチラシを配布したり、車庫証明で来所した人に対してチラシや口頭で注意を呼び掛けている。

- ・車上ねらいではない（非侵入盗扱い）が、深夜車内で仮眠中、助手席に置いてあった貴重品を盗まれることが多かった。おそらく同一犯と思われる。

#### 【高尾警察署 酒井委員】

- ・管内における刑法犯認知件数は減少傾向。指定重点犯罪の発生は 64 件。

- ・強盗が 2 件、両方とも犯人検挙している。性犯罪 5 件、いずれも検挙。性犯罪に関しては、小学生の 2 名が SNS で知り合った男とラブホテルに入りわいせつな行為に至る案件であった。いずれの案件も、ホテルがモーテル形式になっており、車で乗り付けるとそのまま部屋に入れてしまう形状で、受付を通さなため事件につながった。

- ・特殊詐欺は 27 件発生し、10 名 24 件逮捕している。本来は 50 件くらいは被害にあっているはず。恥ずかしくて被害届を出せずにいるという人も多く、被害にあっても被害届を出さないため、警察が認知していないであろう案件もある。その暗数を含めれば、おそらく 50 件くらい被害が入っているのではないかと。

- ・侵入窃盗被害は 25 件発生、7 名 13 件について事件解決に至っている。無施錠での被害が半数であった。

- ・ひったくりは 2 件発生。1 名は検挙したが、1 名は検挙に至っていない。検挙の案件に関しては営業の人が自転車の前かごからバッグをひたかれたという事案だったが、バッグの中に携帯電話が入っていて、その位置情報から犯人の位置を特定して警察官を臨場させて逮捕に至った。もう 1 件に関しては大規模小売店での買い物帰りの方を狙ったものであった。

昨年は 0 件であったひったくりだが、今年発生したことを受け、防犯協会や母の会と協力してキャンペーン等を行って啓発している。

- ・自動車盗被害は 3 件。いずれも未検挙。

- ・特殊詐欺に関しては アドバイザーとして女性の元警察官に高齢者宅を 1 件 1 件回ってもらって啓発と留守番の設定のお願いをして回った。2 名で 2143 件の注意喚起の実績があった。市から配られた自動録音装置も 16 台設置した。

また、毎月 15 日に防犯協会と母の会の協力を得て特殊詐欺被害防止キャンペーンを実施。

- ・最近の傾向として、金融機関の営業後の ATM が狙われるため、警察官を 16-18 時の間無人 ATM に固定配置をして、被害の防止と検挙に力を入れている。
- ・1 月 26 日に発生した強盗未遂の事件に関し、学校への情報提供が遅れて、情報発信と連携の難しさを感じた。情報共有のあり方について、今後の課題としてどういうことができるか検討している。

【南大沢署 比嘉課長代理】

- ・指定重点犯罪は 1 5 1 件発生している（昨年比-5%）。

詐欺等を含む特殊詐欺は 43 件発生しており、そのほかの内訳はひったくり 3 件、侵入盗が 92 件、強盗が 2 件、性犯罪が 6 件、自動車盗が 3 件、子供に対する犯罪が 2 件。

- ・特徴としては侵入窃盗が増えて 9 2 件（昨年比+1 2 件）発生したが、手口としてはガラス破りが 6 割を占めている。

別所地区での発生が多く、防犯講話を実施した。また、別所の 2 つの地区において 2 つの防犯パトロール隊を結成。その後、パトロール隊を結成した場所ではまだ被害が発生していない。今後も被害のあった場所で防犯パトロール隊の結成を促したいと思う。

- ・特殊詐欺については管内で場所の偏りはなく、まんべんなく発生している

警視庁が閉庁した後の夕方にアポ電が入ることがあり、被害もその時間に発生していることが多いと感じる。侵入窃盗と特殊詐欺の共通する対策としては、地域課の協力を得て戸別訪問を昼間帯に重点的にしている 1 3 万世帯の 2% に対して実施した。

○質疑応答

【議長】

高尾署で発生した強盗未遂の件に関して、休日夜間の連絡体制について、なにか事務局からあるか。

【防犯課長】

高尾警察署からの話を受けて、教育委員会と話をしているところ。高尾警察署の方には直接報告させていただきたい。

【生活安全部長】

災害時も含めた一般的な情報共有に関して、生活安全部長は全ての管理職の連絡先を把握している。また、災害時のために三警察署の警備課長と電話連絡が取れる体制がある。

防犯に関しては、防犯課長と 3 警察署の生活安全課長との連絡体制をとっておき、そこから生活安全部長を通すなり、直接担当同士で連絡なり、休日緊急時も連絡を取れるような体制をこれから考えていきたい。学校に直接電話するよりもその方がスムーズに話が進むと思う。

【防犯課長】

閉庁時は守衛室に連絡していただき、そこから連絡してもらおう手もあると思うが、スピーディーな対応ができるよう検討していく。

【生活安全部長】

裁判所からののがきの詐欺は最近聞かない気がするが、発生しているのか。

【比嘉課長代理】

被害として認知してはただだと思ふ。 交番などには相談があるため、無くなってはいない。

【防犯課長】

詐欺盗に関して、偽の警察官が訪問すると思ふが、各警察署が実施している戸別訪問の本物の警察官と偽物と見分けるポイントはあるか

【比嘉課長代理】

実際に疑われたときに署に在籍確認してもらっているが、そのくらい疑ってもらえれば逆に詐欺にひっかからないと思ふ。

【渡辺委員】

八王子はほかの町と比べて防犯カメラが少ないと感じる。その点と八王子市の車上ねらいが少なくないこととの関係があるのかもしれない。

車上狙いで逮捕された報道を見ると、犯人は建築業や鳶職関係の人の可能性がある。そういったところへの啓発をした方が良くと思ふ。

【生活安全部長】

是非警察と東京土建などが連携して講習会をやっていただきたい。

○そのほか

【西室委員】

鉄道事業者として、情報の共有に重きをおく。送る側としても受ける側としても情報の取り扱いについては適正な対応を心掛けたい。

【林委員】

駅構内のATM付近にいる高齢者について、必要に応じて声掛けを行っている。

【議長】

駅構内の暴力事案に関するポスターをよく見かけるが、事案はあるのか

【西室委員】

ある。実際の事案では正義感の強い社員ほど仲裁に入って受傷することがあるので、注意するよう社員に啓発。

【山村委員】

防犯カメラは町中にあるが、気づかないカメラは効果が低いので、「作動中」の掲示が効果的であると思ふ。

町会自治会につけてもらうことも大切だが、会社に関しては積極的に設置してもらいたい。

【一杉委員】

小学生の性犯罪に関して、内容を聞いたときは衝撃的だった。SNSの利便性の裏に潜む闇に関し、子供に対するSNSに関する教育が急務と考える。

【井上委員】

少年補導員をやる前は男の子の非行が多いと思っていたが、実際には女の子も多いことが分かった。補導員に女の子が少ないので、女の子に対する所持品検査やボディチェックなどで対応に困ることが多いと思ふ。

女性の補導員が増えれば良いと思う。

#### 議題4 その他（再犯防止推進計画の策定について）

【安岡主査】資料3に沿って説明

【高橋委員】

防犯協会の会合内の講話で杉良太郎の話を聞いたことがあるが、昔は「臭い飯を食う」という言葉があるくらいで、刑務所はできれば戻りたくはない所ではあったが、最近は刑務所の居心地が良くて、出所してもまた罪を犯して刑務所に戻ってしまうという話を聞いた。刑務作業や職業訓練で行ったことも、実際社会で活用されることは少ないらしいため、実生活、就労の面で役に立つことを身につけられるよう、働きかけを行っていききたいとのことだった。

【議長】

就労支援については、企業側の問題もあるのか。

【安岡主査】

協力雇用事業主を増やしていかなければならないなどの問題もあるが、そのほかにも市としてやっていけることがあると思うので取り組んでいきたい。

【議長】

防犯カメラの時にも話があったが、企業に対する協力依頼も重要になると思うので、協力してもらいたい。

【安岡主査】

市の企業関係部署と連携して行っていきたい。

【生活安全部長】

再犯防止推進計画についても、国が注力していることであり、また保護司の注目も集めていることである。本協議会でご意見をいただく場面が出てくると思うので、その際にはよろしくお願ひしたい。

以上